

課題解決型インターンシップ

23プロジェクトに162人が挑戦

本学キャリアデザインセンターの課題解決型インターンシップは、地域の企業やNPO法人などと連携し、さまざまな課題に挑戦する本学独自の長期インターンシップだ。学部学年を問わずチームを組み、さまざまなミッションを展開している。

本年度は23プロジェクトに162人が参加。イベント実施、宣伝・マーケティング、商品企画の3つのテーマに添って8カ月にわたり活動した。



社会的に関心が高まっている子ども食堂について、川崎市の実態調査し、ネットワークづくりのためのフォーラムの企画運営を行った。メンバーは齋藤日子さん(人間科学2)、唐澤美希さん(人間科学2)、森住美里さん(経営1)、横田亜門さん(法1)の4人。子ども食堂は、地域の困窮者の解決を地域全体で目指そうというフォーラムを開く。それに先立ち、子ども食堂の実態を知ることができた。子どもはもちろん、ボランティアの人たちも生き生きしていたのが印象的だった。将来、児童福祉関係の仕事に就きたいという思いが強くなったと思いを語った。

子ども食堂の実態調査

かわさき市民しきんチーム

子どもが好きなという声が多く、子ども食堂を利用する子どもたちが直接触れ合える居場所づくりを行う取り組み。一般社団法人「かわさき市民しきん」では、子どもの貧困問題の解決を地域全体で目指そうというフォーラムを開く。それに先立ち、子ども食堂の実態を知ることができた。子どもはもちろん、ボランティアの人たちも生き生きしていたのが印象的だった。将来、児童福祉関係の仕事に就きたいという思いが強くなったと思いを語った。

「敏子」に焦点 館内ツアー

川崎市岡本太郎美術館チーム



10月に二つの館内ガイドツアーの企画に当たってメンバーは「表面的な理解では作品や人との関係を解説できない」と感じた。関連書籍を読みながら敏子に興味を覚え、彼女を主軸にした女性限定のツアーを開催することにした。ツアーでは最初に、「敏子」だけ書かれたネームプレートが参加者に手渡された。そこにおのおの名字を書き込み、敏子になりきって岡本太郎の足跡をたどっていった。最初に立ち止まったのは「夜」という油彩画の前。この作品が由来となった太郎主催の前衛芸術研究会「夜の会」

成果発表会

シンジヨーマちなカレッジチーム

まぐたまチーム

成果発表会

ポスターで活動を紹介

23プロジェクトの成果を発表する成果発表会が12月2日、生田キャンパスであった。各チームがそれぞれの活動について来場者に説明した。写真① ネットトヨタ湘南チーム 会社を地域に知ってもらうためPR活動に取り組んだ。採用ホームページを学生自前でリニューアル。写真② まぐたまチーム 地域のイベントにも参加し、高木連さん(経営2)は「住民同士が協力し合うことが大切だ」と話した。



料理サークルによる調理風景=2017年10月19日



風祭で活動を報告したメンバー。まぐたま代表理事の岡本さん(右)、理事の秋庭波里さん(左)と=2017年11月4日

住民参加で魅力伝える



「まちなカメラ」の前で充実した表情のメンバー

生田キャンパスに通う学生が利用するJR南武蔵登戸駅から5駅の武蔵新城駅(川崎市中原区)の駅を中心に活動している「シンジヨーマちなカレッジ」は、地域の人々が世界に一つだけの地図を作った。地域のポランテ



「まちなカメラ」の前で充実した表情のメンバー

最優秀賞に2チーム

第14回神奈川産学チャレンジプログラム

神奈川県内の企業、大で賞状が手渡された。学生が解決案を提案する産学連携の課題解決型研究コンペ「第14回神奈川産学チャレンジプログラム」(一般社団法人神奈川経済同友会主催)で、専大からは2チームが最優秀賞、14チームが優秀賞を受賞した(別表参照)。

今回は34社から37チームが提示され、最優秀賞に21チーム、優秀賞に51チームが選ばれた。19校から240チームが参加するなか、専大からは応募校中最多となる49チームが参加。入賞チームは表彰式(12月19日、横浜・パシフィコ横浜)

賞	学部	指導教員	メンバー(敬称略。全員3年次。先頭が代表)
最優秀賞	経営	福原康司	杉村翔太 坂本拓己 森田瑛子 渡辺和花
	経営	関根純	由川樹 大村浩 天野高太 松本千春
	経営	田口冬樹	相原康介 若林祐樹 西山奈史 坪井志織
	経営	馬場杉夫	猪谷祐美 片山莉菜 小出泰佑 チョ・スンジュ
優秀賞	経営	福原康司	諸星明香 飯塚千尋 一宮仁 杉山竣祐
	経営	内田飛路	諸星凌太 秋谷朱里 北原香奈 山本大樹
	経営	市瀬竜平	新井友梨香 三原遼太郎 秋山美乃理
	経営	森本祥一	遠藤大輔 芳賀光 市川潤 鈴木彩華 池田美月
商	商	内海佳奈	内海佳奈 関口雄亮 井坂美穂 相澤司 坪内萌々
	商	円城寺敬浩	吉見研人 加藤ゆり 田中瑠美
	商	石川和男	小泉凌我 菅野啓輔 小真貴子
	商	鹿住倫世	新保美咲 大槻恭平 仲村祥也 荒井美香
商	中原孝信	中村祥之 高橋あやか 中田美由紀 呉程超	
商	中原孝信	曾根正貴 東山匡太 永井準也 松原光 伊藤清那	

経営・福原ゼミ 杉村チーム 集合住宅での共同体形成



表彰式に出席し(左から)渡辺さん、杉村さん、森住さん

マンション・団地に成及び活性化アイデア(マンション)の形(ア(ヨコン))に取り組んだ杉村チーム(杉村翔太、渡辺和花、森田瑛子、渡辺和花)の提案は、若い調査など多く、フィードバックを繰り返していった。渡辺さんは「We Are Fam 企業の方にも高く評価していただいた」と渡辺さん。渡辺さんは「全員が目標を見失わずに活動する。自分の役割を見つめて参加することが大切だ」と話した。

経営・円城寺ゼミ 由川チーム 外国人客に非言語マップ



賞状を手にとる天野さん(左)、大村さん、松本さん(右)

「画像、絵、写真に情(ミで)学んだ組織論や経営学を駆使して、外国人顧客のニーズを把握し、横濱駅前地下街の案内サインを制作する。横濱ポルタのシャッター・フロアに案内マップ、横濱の観光地、公共交通機関への案内をペイントする。SNSを利用することの大切さを実感した」と話した。